

令和元年度 第4回 小野申人といきいきトーク

と き	令和元年2月17日(月) 19時～20時30分
と ころ	府中市役所
テ ー マ	これからの府中市の子育て支援について
出席者	広谷保育所保護者8名 市長、荻野教育部長、山田女性こども課長、 門田学校教育課長

今、府中市でも子育て・教育の点については、重点施策の一つとして挙げさせていただき、進めているわけだが、そうした中、まさに子育てをしている皆さんの意見を聞きながら、今後の府中市政にも取り組んでいきたいと思っている。

市

《情報発信》

- ・ 府中市でしているさまざまなサービスがあるが、知らないものが多い。今の20代、30代の目に届きやすいSNSなどの媒体で知らせてほしい。

《保育所・保育サービス》

- ・ 加配の先生をつけていただいている。とても手がかかる子だが、とても暖かく見守っていただいている。
- ・ 連絡帳に日々の報告、相談、返事をいただいて、重たい内容ではなく、こういうことをした、今日はここを頑張ったということを細かく連絡をいただけるので安心する。
- ・ 連絡を手紙ではなく、口頭で子どもに伝え、親に言うようにと言われた。また、その内容が朝の担当の先生に伝わっておらず、子どもが傷つきかわいそうなことがあった。
- ・ 保育所のクラスに事前に慣れさせるため、一時保育を利用したが、上の子の時と違い、クラスの子とは別に一時保育の子どもだけで過ごしていて意味がなかった。

広谷保育所は一時保育用の部屋があり、現在は、そちらでやっている。預けるときに保育所にクラスに入れてほしいという希望を言っていただければ対応を考える。ただし、施設の基準があり、保育士何人に対してお子さんが何人というところで、余裕がある場合は、入ってもらってもいいのだが、クラスの数がいっぱいで受け入れができない場合もある。

女課

- ・ 熱が出たときに、祖父母は高齢で頼めず、自分は仕事があり、困っていることがしょっちゅうある。出産して、退院してすぐに動かないといけないことがあり、一切休めない。子供も自分も病気で困っているときに誰に助けてもらえばいいのか、頼めるところがないと感じている。

産前産後のときは、一時預かりなど保育所で優先的にお子さんをみられるようにしている。

女
課

《放課後児童クラブ》

- ・ 府中学園の放課後児童クラブは、100人ぐらい利用人数がいて、トイレは、男女1つずつしかなく、環境が整っていない。市内の放課後児童クラブの環境を整えてほしい。

府中学園の利用者が多く、部屋がいっぱいで、トイレの話も聞いている。4～6年生はタムに行ってもらい、人数は以前よりだいぶ減っているが、まだ人数が多いと聞いている。

市

校内トイレを使わせてもらうのは、難しい。グラウンドで遊んだときは、体育倉庫のトイレを使わせてもらっている。

女
課

《相談》

- ・ 市役所でも外国人の母親が自分の国の言葉で話せる相談の場がほしい。府中市にはないので、福山市に行っている。

《いじめ》

- ・ 体格が大きい子が、小さい子に蹴ったり、暴言だったり、いじめのようなことがある。先生が解決してくれたが、他にも「お母さん、外国人」と言われ、誰が言ったのか聞いても黙ってしまう。

学校で起きた場合、早い段階で当事者と家族と話を聞いて、まず、解決するということまで持って行く。解決したから終了ではなく、解決した後、安全に暮らせているかをずっと追いかけていくということを学校で取り組んでいる。仲直りで終了とはしない。子供たちの心のなかに起きていることなので、一人一人に面談をすとか、気持ちを書いてもらうとか、困っていることがないか、子どもと家族それぞれにアンケートも実施している。1年に2回程度行っている。そうやって気付きを増やし、一人一人の子供たちと先生とが面談して、心のケアをするという対応を取っている。それぐらい丁寧にやっていたら、すぐに解決するものではないということを先生方に理解してもらい、進めている。

学
課

- ・ いじっていた子のお母さんと話したが、学校の対応に疑問を持ち、信用できないと言われていた。また、その話しに担任が必ず関わるのではなく、人選を考えたいと思う。アンケートについても、学校だけに出すのではなく、市にも出すなど他の手段も考えてほしい。

教育委員会が全てのアンケートをまとめると膨大な数になる。それでは後手になる。

学
課

相談窓口のような別のルートで対応できることを紹介している。教育委員会の立場が関わる場合は、苦しんでいる子供たちを救うことを中心に、再発しないように目を配る。こじれたときに適切なアドバイスをすることで救えないかと常に考えている。また、感情的にこじれるケースもある。そういう場合に担任の先生が訪問すると、いやな感情が先立ってさらに難しくなることもありうる。学校もどう対応をしたらいいかと実際に困っているところがあるが、実際には1つ1つ小さな解決に向けて進んでいるのが現状。

学課

《公園》

- ・ ボムボムの砂の駐車場もコンクリートにしてほしい。

川べりと今は砂地で駐車場としてつかっているところを整備して一体的に公園にするよう計画している。

市

- ・ 雨の日に遊べる場所が欲しい。また、小学生になるとポムポムでは、少し物足りない。

来年の4月から、現在、広谷保育所でしている府中版ネウボラ「子育てステーション」を天満屋に本格的に移す。その横に多目的広場をつくり、遊具を備え付けていきたい。雨が降っても使える場所として考えている。今だとデジタル系で遊べるものもできたらいいと思っている。皆さんの意見を教えてほしい。

市

- ・ そういふところができるとう、子供たちだけで天満屋に行きたくなるが、学校的には禁止されている。

今までは、天満屋にはゲームセンターとか子どもだけで行かすのは、心配になるところがあり、PTAと話して禁止と決めていたが、施設が変われば、それに応じてルールも変わっていけばいいと思う。そういふ声を出してもらえば、変えやすくなる。

学課

今日に限らず、要望などあったら、遠慮なく言ってほしい。

市